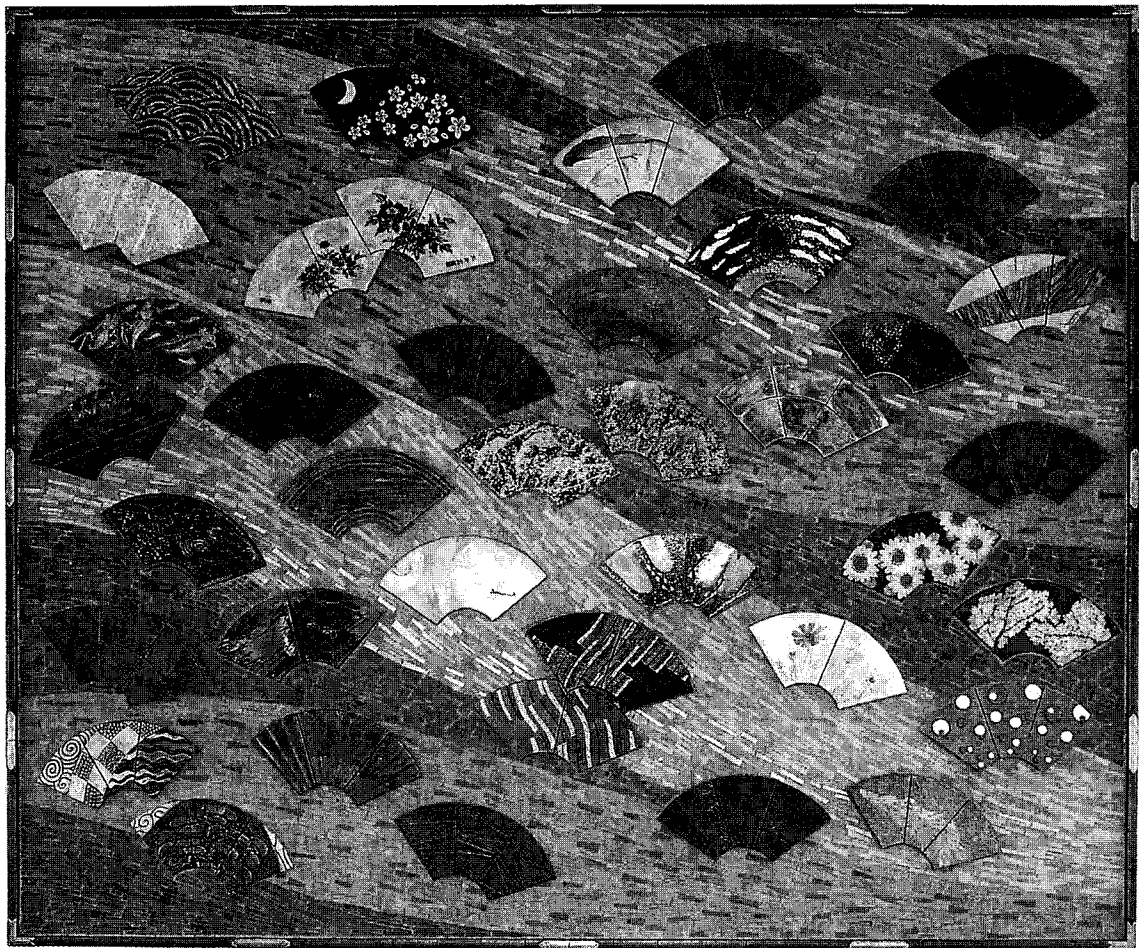


あかハハけ 6

発行/赤池町役場 〒822-1193 福岡県田川郡赤池町大字赤池970番地の2 ☎0947(28)2004 編集/総務課 No.425

さわやかな風に舞う扇の囀

新庁舎玄関ホールの上野焼陶板壁画



この陶板は、庁舎玄関を入ると、真正面に見ることができます。高さ5m、巾6mの大壁画で、圧倒されそうな感じがする程です。町内29の上野焼窯元の方々が創意工夫して造られた陶板を、久原弘さん(大和町・文連会長)が全体のデザイン、監修をしたものです。必見の価値あり。一度ご来所ください。

颯 颯

現在、大きな社会問題になっているのは、「ごみ」の処理です。わたしたちは、日常生活の中でさまざまなゴミを排出しながら生活しています▼日本人一人が一日に出すゴミの量は、約千百グラムといわれています。日本全体では、一日に約十四万トンのゴミが排出されていることになりま

す。ゴミ集積場に出した後のことを考えたことがありますか？集積場から姿がきえても、ゴミそのものが消えてなくなったわけではありません。それらは、焼却処理などの過程を経て、最後には最終処分場に埋め立てられます。その処分場の容量はいまやパンク寸前。現状のままでは、あと八年でゴミがあふれてしまいます▼ゴミの容量を減らすだけなら、焼却処理だけでもいいと思うかもしれませんが、全てのゴミを焼却できるものではありません。又、この方法では環境を汚染するという問題が生まれます▼一つは、焼却時に発生する大量の二酸化炭素による、地球の温暖化。又、もう一つは、むやみに燃やすと、ダイオキシンなどの有害なガスを発生してしまうことです。こうした環境への悪影響を考えると「ゴミ全体の量を減らす」こと以外にありません▼これからは「捨えずに使う」「捨えずに生かす」――捨てる社会から、生かす社会へ